

こうとう民報

2013年5月号 103

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 江東区民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

2013年 国民平和行進 東京 広島

夢の島公園で出発式

なくそう核兵器！あなたの一步が世界をかえる



第五福竜丸展示館前で出発式(上) 行進参加者(右)



5月6日、今年も原水爆禁止世界大会が開催される広島・長崎に向けて「国民平和行進」の出発式が開かれました。夢の島公園・第五福竜丸展示館前での出発式には、900人が参加しました。

ミュージシャンのYU

KARIEさんのオープニングで幕を開けた出発式。連帯挨拶で日本山妙法師・木津博充上人は「自民党政権は、憲法9条を破壊し、再び戦争のできる国へ変えようとしています。広範な人々とともに、人の命

につながらるあらゆる行為を、私たちは非暴力で止めていかななくてはなりません」と呼びかけました。

リレートークには、被爆者を代表し山本英典さんが「私たちは、核兵器が一発でも使われれば、どんな被害があるか知っています。だから今の政府のやり方には我慢なりません。」

原爆はたくさんの人を巻き込みました。しかし国は未だに「ごめんなさい」と言っていない。政府はふたたび戦争できる国への道を進もうとしています。こんな道を将来世代に進ませるわけにはいきません」と訴えました。

原水爆禁止世界大会で平和行進を知り、今回の通し行進(夢の島・広島)に立候補したマラヤ・フアプロスさんは「将来、核兵器の廃絶を求めて歩くのではないとして行進しましょう！そのために今、頑張りましょう」と訴え拍手に包まれました。

などその他の公共施設、病院や老人施設などの民間施設などはまだ耐震化が必要施設が残されています。とりわけ昭和56年以前に建築した施設は、当時の地

第84回メーデー 代々木公園で開催

晴天に恵まれた5月1日、第84回中央メーデーが代々木公園で開かれ、2万1千人の労働者が参加しました。会場では様々なデコレーションが並びました。東京



デモの順番を待つ、江東区職労のみなさん

土建のみなさんは、モグラたたきを模したデコレーション。「消費税」「TPP」と書かれたモグラを怒りを込めたハンマーでたたきま

メーデー宣言では、すべての働くものの連帯と共同の力で暮らしと雇用を守り、憲法が生きる安全・安心社会の実現をめざします。

大企業の内部留保を還元した賃上げ 安定した雇用と仕事確保 全国一律最低賃1千円以上の実現 貧困格差の解消 労働時間の短縮 長時間過密労働をなくせ リストラ「合理化」反対 地域経済を守れ などの諸要求実現の運動を上げようと確認しました。

地震が起こることは防げませんが、地震による被害を想定しその対策を立てることで、被害を少なくすることはできます。日本共産党江東区議団はこの考え方のもとに、地震対策に特別に力を入れるよう求めてきました。とりわけ、建物が壊れなければそこにいる人の命を救い、その後の生活の基盤を確保できることから、まずは子どもたちの生活の場であり、災害時には避難場



所となる学校の耐震化について、他会派から「また、やんのかよ」とヤジが飛ばされるほど繰り返して取り上げ、平成21年度にはすべの小・中学校の耐震化を公共施設や住宅など**建物の耐震化助成の拡充を**終わらせることができま

進まないのが現状です。共産党区議団は、助成費用の増額と技術面などの支援を強化すること。また、とりあえず耐震ベツドや居間の簡易改修、部分改修など命を守るための工事も助成することなどを求めてきました。そうしたなかで、今年度予算では老朽化建築物の除却(倒れて道をふさぐことのないように)に助成制度が創設されました。東京都は堤防や水門の耐震化を急いで

空に鯉のぼりが舞い上がる季節なのに、真夏日が続く熱中症が心配されています。この連休中に、安倍首相や閣僚らがロシア・東南アジア・中東・南米に、112社200人とトップセールス。かつて仏大統領が日本の首相を「ソニーのセールスマン」と揶揄したエピソードや、1976年のロッキード事件での「首相の犯罪」などが想起されます。今回はもつと悪質でないのに、原発をトルコ、アラブ首長国連邦、インドに輸出します。後は野となれ”の暴挙といわざるをえません。国内では、急激な円安・株高がすすみ、ユニクロの柳井氏の資産がわずか5カ月で4047億円、家族の分を合わせれば8000億円超も増えたといわれています。最低賃金749円で、15年間に平均年収が70万円も減っている庶民には、2015年には増税、負担増・給付減で20兆円の収奪が襲いかかります。マスコミはアベノミクスをよびよせているものの、さすがに国民の実態まで覆いかくすことはできないようです。13日付読売新聞で報道された世論調査でも、景気回復を実感していない人が76%にのぼります。都政でも国政でも、オール与党の悪政に立ち向かい、いのちとくらしを守るのには日本共産党だけという構図が明らかになってきています。

「町人文学と江東」

小林一茶の肖像



概説 江東の歴史 (22)

江戸町人文学を代表する2人の文豪は、ほぼ時を同じくして深川の一角に誕生しました。

山東京伝は、1761(宝暦11)年に木場の質屋の子として生まれました。才能に恵まれ長唄や三味線を習い、浮世絵も学び、18歳で処女作を出版、22歳で「御存地商売物」を書き流行作家となります。1791(寛政3)年には、3部の洒落本で50日の手鎖の刑をうけ、一層その名は高められました。

滝沢馬琴は、1767(明和4)年、海辺橋の東、松平信成の屋敷内で武士の子として生まれました。俳諧を修業し、父の死後の14歳のとき「木がらしに思いたちたり神の供」の句を残して、松平家をとびだして市中を放浪。10年後に京伝の門を訪ね、処女作「尽用而二分狂言」を書きます。1793(寛政5)年、27歳で下駄商合田氏の婿になると、読書と執筆に明け暮れました。代表作「南総里見八犬伝」には28年もかけたといひます。馬琴は原稿料だけで生活した最初の作家でした。

独特な句風で親しまれる小林一茶は、1803(享和3)年、41歳のときに堅川の南(清水橋の東)にあった愛宕神社の小屋に住みつきました。1年半ほどで本所相生町に移り4年ほどすごします。3歳で母を失い継母にうとまれ、15歳から長い放浪の末「終の棲(すみか)」信州柏原に帰るまで、1力所に定住して人情深い句を読んだのは堅川のほりでした。

一つなくは親なし鳥よ秋の暮

(一茶)

江戸時代には狂歌もさかんで、深川に住んでいた作者に土師搔安(はじのかきやす)、勘定疎人(かんじょうとうとんど)、吹殻咽人(ふきがらのむせんど)らがいます。蘭学者の森島中良は森羅万象と号して狂歌をつくり、その歌碑は深川八幡にあります。

ふじの嶺の世に覆(おお)へどももろともに 笠着てくらす

すがた見せけり

(万象)

江東革新懇 憲法学習会 いま9条と憲法が危ない! 日本を戦争のできる国にする憲法改悪を許さない!



講演する宇都宮健児さん

元日弁連会長で弁護士の宇都宮健児さんが講演。宇都宮さんは、昨年の東京都知事選にふれ、「脱原発、反貧困、憲法擁護」の基本政策を掲げて闘い、多くの市民運動、労働運動、政党間の新しいつながりや大勢のボランテニアがつけかけてくれるなど貴重な成果を得た」とし「これからも政策実現と、選

5月16日、江東革新懇主催による憲法学習会がカメラリアプラザで開催され、70名が参加しました。

挙で痛感した公職選挙法の不正を正す運動を強めたい」と決意を述べるとともに「7月の参議院選挙の結果次第では憲法改悪が現実的な政治課題となる可能性が大きくなっている」と強調しました。 自民党改憲案について 立憲主義の理念の放棄 天皇の元首化 日の丸・君が代の尊重義務 自衛権の発動を認める 国防軍の創設と軍法会議の設置 徴兵制の導入も可能にする(奴隷的拘束の削除) 国民の責任と義務を強調 基本的人権を制限する概念としての「公益及び公の秩序」の使用 「集会・結社・表現の自由」も「公益及び公の秩序」により制限 家族の位置づけ(相互扶助) 緊急事態(内閣総理大臣の権限の強化) 改正手続きの緩和など危険な点を説明しました。



開会挨拶する大瀬支部長

これからの運動について「政治的立場・イデオロギー的立場を超えてつながることの重要性」、「運動をさらに広げていく創意・工夫の必要性」と「護憲運動だけでなく、憲法を定着化・実質化させる運動の重要性」を訴えました。田村事務局長から「革新懇の三目標『憲法を守り民主主義の日本を 国民生活の向上 安保条約をなくし平和な日本を』にふれて、参議院選挙は日本の将来を左右する大事な選挙。改憲政党に3分の2を絶対とらせず、革新三目標に合致する勢力が伸びようがんばりましょう」としめくりました。

年金者組合・江東支部定期大会 高齢者いじめの 社会福祉政策をやめさせよう!

5月12日、年金者組合第18回定期総会が砂町区民館で開かれました。

今年10月から3年間で年金が2・5%削減されるも、大瀬秀之支部長が開会挨拶。来賓の正保みきお区議は「夏の二つの選挙は、やりた放題の安倍政権を追い込む選挙にしよう」と呼びかけ、10万人近い江東区の高齢者のうち7万人が非課税者。この経済状況のなかで増税、負担増となれば生活は破壊される。消費税増税阻止、憲法9

条を守りぬこう」と挨拶。斉藤憲夫事務局長が経過報告、活動方針を提案。「こんな社会に誰がした」と題して、無縁社会・孤独死・姥捨て山・自殺・格差社会・非正規労働者・ワーキングプア・老老介護・漂流難民・生活保護バッシングなどを取り上げました。 また、イギリスでは医療費が完全無料、ドイツでは医療費は月千円ほどの定額負担、フランスでは医療費窓口負担ゼロなど社会福祉政策のヨーロッパとの対比を紹介しました。

総会では「憲法を生かし、無くそう貧困と格差。許すな医療・福祉改悪に増税。仲間を増やし、高齢者が安心して暮らせる社会の実現を!」とのアピールを採択しました。 総会後行われた懇親会では、涙ながらの退任挨拶もあり、みんなで労をねぎらいました。その後、コカリナの演奏などで楽しく交流しました。



西大島・亀戸地域日本共産党演説会



5月12日、カメラリアプラザにて西大島・亀戸地域日本共産党演説会が行われました。あぜ上都議は、特養ホームやケア付き住宅の増設、認可保育園の増設など「くらしを守る都政へ全力で頑張ります!」と決意を述べ、この間の活動を振り返り「みなさんと力を合わせれば必ず都政は変えらると確信しています」と力強く語りました。

行事日程 table with dates and events like 6月1日(土)健康友の会総会, 6月2日(日)江東民主商大会議室, etc.